

日本共産党横浜市会議員団
団長 古谷 やすひこ 様

横浜市長 山中 竹春

児童相談所について、運営や職員の未配置の解消、処遇の改善等、
抜本的改善を求める要望書について (回答)

令和 7 年 11 月 21 日に提出いただいた標記につきまして、下記のとおり回答します。

記

児童相談所において、児童虐待防止対策を一層充実・強化していくことが不可欠であり、そのため、体制や機能強化に継続して取り組んでいきます。

【児童相談所全体について】

- 1 一時保護所については、8 年度に向けて、児童指導員及び保育士を計 12 名増員します。採用状況等によりますが、配置予定数としては国の配置基準を満たす予定です。
児童福祉司及び児童心理司については、8 年度に向けて、計 21 名を増員します。早期に国の配置基準を満たすよう、引き続き、努力していきます。
- 2 職員の長時間労働については、一定の経験を積んだ職員がスーパーバイザーとして、係長とともに職員の育成や困難ケースの対応などを担っているほか、AI やタブレットの活用など DX 化を進めています。
令和 8 年度中には、児童家庭相談システムを新たに導入し、ケース記録を一元管理することで、児童相談所全体の業務効率化を図り、長時間労働の解消に努めます。
- 3 8 年度に向けては、全ての児童相談所に職員の出張旅費を確認する会計年度任用職員（日額）を配置する予定です。

- 4 児童虐待対策を推進し、こどもにとって安全で安心な環境を守るうえで、児童相談所の管轄区域などについて、国の基準を考慮することが大切だと認識しています。

令和8年4月に、市内5か所目となる東部児童相談所が開所しますが、今後の整備については、人口動態や社会情勢等を踏まえて検討していきます。

【一時保護所について】

- 1 現在、夜間の入所状況等を検証するとともに、他都市や民間施設の取組について、調査しています。

引き続き、本市の一時保護所における夜間帯の勤務体制のあり方を検討していきます。

- 2 一時保護所の増設については、児童福祉施設や里親等への一時保護委託も合わせて行っていく中で、今後の人口動態や社会情勢等を踏まえて検討していきます。

- 3 職員のロッカーや男女別の休憩場所については、建物の状況から、十分な休憩場所が確保できていない一時保護所がありますが、レイアウト等の工夫により、可能な限り改善していきたいと考えています。

- 4 洗濯機乾燥機については、入所児童の毎日の生活において、欠かせないものです。故障した場合はこどもたちの生活に支障が生じる恐れがあることから、定期的な点検や耐用年数での更新を進めるため、更新計画を作成しました。

7年度は、不具合のあるものや耐用年数を経過した家庭用洗濯機及び乾燥機の更新を行いました。

以上